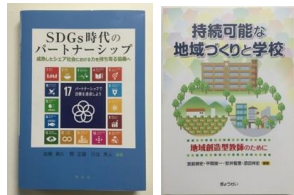


# 次世代に繋がられる「持続可能な地域モデル」を十勝うらほろで共につくる企業を募集

## 浦幌町の取組みは、SDGs時代のパートナーシップ事例として注目されている！



「SDGs時代のパートナーシップ（学文社）」などの著書で浦幌町の取組みが大きく紹介。浦幌町内の小中学校を中心とした次世代に繋ぐ持続可能なまちづくり「うらほろスタイル」は「地方創生×教育」の先導モデルとして、国や研究機関から高く評価。全国からの視察や講演依頼を多く受けている。子どもたちの自己肯定感の向上にも寄与。



## メディアも注目！都市の社会人や企業と数多くの協働を実現！

- 「うらほろスタイル」で長年おこなってきた次世代に繋ぐ協働を基盤として、SDGs貢献を目指す企業や副業型企業人など様々な組織・個人が参画。次世代に繋がられる「持続可能な地域モデル」を「うらほろ」で創っていくために必要な課題解決や事業創出に取り組む。
- 大手IT企業・製薬会社等勤務の社員が副業ボランティアでまちづくりに参画する。これらの副業モデルはメディアでも多数紹介。また、企業版ふるさと納税等も活用した企業と連携した事業開発も数多く行う。
- 十勝うらほろ楽舎では、企業版ふるさと納税の制度などを活用し、私たちの思いに共感してくださる企業様とともに事業開発に取り組んでいます。協働での事業開発にご関心をお持ちの企業様を募集しています。

## 楽舎メンバーは多彩！町内で別会社の起業をチャレンジするメンバーも！



楽舎代表/近江正隆



宮寺由佳  
2021.5  
オリエンタルランド  
から転職



浅野佳奈  
2021.5  
東武トップツアーズ  
から出向



楽舎副代表の北村昌俊（北村林業）理事の佐藤功行（ロート製薬）前地雅人（ソフトバンク）等が副業で木材加工会社「パトンプラス」を設立。



楽舎副代表の辻木勇二（元メルペイ）理事の原田健二（元ヤフー）前地雅人（元ヤフー）等がIT会社「フォレストデジタル」を設立。

## 学びのフィールドが充実！（研修・出向の受入拡充）

日本最大の学生農業インターンを仕掛ける山内一成が参画。現在研修事業全般を担当。楽舎代表近江正隆は、ISL企業経営者育成プログラムのコーディネーターやIT企業や中央官庁の研修プログラム受入の実績があり、また副代表の辻木勇二氏・顧問の杉江和男氏は、大手企業等での研修実績がある。企業様のニーズに合わせた研修プログラムの開発実施が可能。



十勝うらほろ楽舎が目指す「新たな協働のカたち」とは



### 企業との協働例：SDGs探究プログラムの開発

東武トップツアーズ（株）から浦幌町に企業版ふるさと納税を寄附。寄附金をもとに、東武トップツアーズと楽舎が共同で、浦幌での体験と事前・事後学習を通して探究心を育む町外の学生向けSDGs探究プログラムを開発。



一般社団法人 十勝うらほろ楽舎：北海道十勝浦幌町に本社を置く組織。浦幌町民の他企業や中央官庁からの転職者と現在も大手IT企業やベンチャー企業・大学などに勤務しながら副業で関わる者、連携企業からの出向者、北大や北教大・筑波大・APUからの新卒生・地域出身の若者で構成。次世代に引き継げる持続可能な社会を目指し、生き抜く力を育む人づくり・まちづくりを推進し、また税に頼りすぎない、まちづくり財源を稼いで投資する新たな仕組みづくりに挑んでいる。令和2年4月に設立。